

マンションドア 商品



# BL 三和のBLドアシリーズ 玄関引き戸

特定防火設備



三和シャッター工業株式会社  
<http://www.sanwa-ss.co.jp/>

○商品に関するお問い合わせは ☎ 0570-063011/03-3346-3011  
(土日祝を除く平日9:00~17:00) ※一般電話・公衆電話からは、市内科全で通話可能。

○修理に関するお問い合わせは フルタイムサービス FTS ☎ 0120-3030-17  
(年中無休・24時間受付対応)

■品質向上を目的に予告なく仕様を変更する場合があります。  
■印刷物と実物では色が多少ちがいますのでご了承ください。  
このカタログは環境に配慮した再生紙を使用しています。

印刷2016年11月 改訂2016年11月  
(D-203)C1C11 (SA/SA)11.03



# バリアフリー構造が うれしい玄関引き戸に、 日々の安心をもたらす 防犯性能が加わりました。

**BL認定基準  
適合！**

防犯性能の向上を求めるBL基準をクリアした三和のBL玄関引き戸。  
CPマークの防犯建物部品としても認められ、その性能の高さは折り紙付きです。  
引き戸が本来的に備えるバリアフリー構造と、BL基準に適合する防火性能、  
さらに防犯性能によって高齢社会・日本の集合住宅にふさわしい、これからの安心を提案します。  
UR都市機構や各種公営住宅にもおすすめの、次世代スタンダードにご注目ください。



BL玄関引き戸は、  
BL(財団法人ベターリビング)が  
定める優良住宅部品の認定品です。

認定内容	
認定番号	BLFD021520
品目	玄関ドア
名称	BL玄関引き戸
型式	BL-SM

※本カタログに示す仕様以外のものはBL認定品とはなりません。

## 侵入盗に備える高い防犯性能

●「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」により「防犯性能の高い建物部品」として認められています。

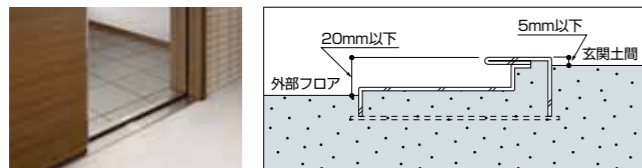
※BL玄関引き戸はドアからの侵入に対して、より防犯効果が高いものとしておすすめしております。完全に犯罪を防ぐものではありません。

(一財)ベターリビングが設置する  
【BLマーク合体証紙BL-bs】

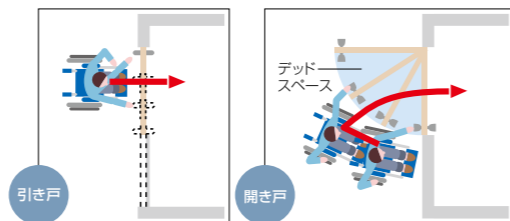
防犯性の向上・高齢者等への配慮  
CP B-bs 防犯性能の向上・高齢者等への配慮  
このマークは、玄関ドアが備えるべき一般的性能を、総合的に有することを表すBL-bsマークと、官民合同会議の求める、防犯性能を有することを表すマークを一体として表現しています。

## お体が不自由な方にもやさしいバリアフリー構造

●有効開口幅は850mmの広さで段差も少ないので、つまずきにくく、車いすでもスムーズに通れます。



●閉まり始めの速度を遅くして、開放状態を長くすることができるディレードアクション機能と、全閉間際に減速する安心機能を併せて備えています。



●開き戸に比べ、開閉時に大きな動作の必要がなく、20N程度の軽い力で簡単に開けることができます。デッドスペースも生じません。

## BL基準に適合した 防火性能

●平成12年建設省告示第1369号に示す構造方法による特定防火設備です。

## 玄関にふさわしい 意匠性

●外壁に合わせてお選びになれる16色の豊富なカラーバリエーションを用意しました。

### カラーバリエーション



- 扉  
化粧鋼板/仕上塗装(常温乾燥)/防錆塗装
- 枠  
防錆塗装

※室内側はすべてPSアイボリーとなります。(PSアイボリー以外の内外同色はオプションにて承ります)  
※印刷物と実物とは色が多少ちがいますのでご了承ください。

### 扉デザイン

フラッシュタイプのみとなります。プレスやモール付きの仕様はございません。

### 部品

#### <引き棒>



#### <ドアチェーン>



#### <ドアアイ>



車いすの方でものぞけるように上下にふたつ付いています。(標準仕様)

#### <引き戸クローザ> BL認定品

メーカー	品番
リョービ	BL85(R/L)-1822

#### <錠前(鍵錠)> BL-bs認定品

メーカー	品番	廊下側(シリンダー)	室内側(サムターン)
美和ロック	U9FGV-1BL		
	JNFGV-1BL		
	PR-JFGV-1BL		
	LB-JFGV-1BL		
写真はU9FGV-1BLです。			

※オプションで補助錠を付けることができます。

## 基本性能

—: 対応なし

開放に必要な力	防火性能	断熱性能	遮音性能	気密性能	耐風圧性能	水密性能	防犯性能	高齢者配慮	建物変形対応	改修
20N以下	特定防火設備	—	20dB以上	A-2等級	S-6等級	—	CP	●	—	—

※性能値は試験値であり、保証値ではありません。使用環境や点検・お手入れなどにより、数値を満たさないことがあります。

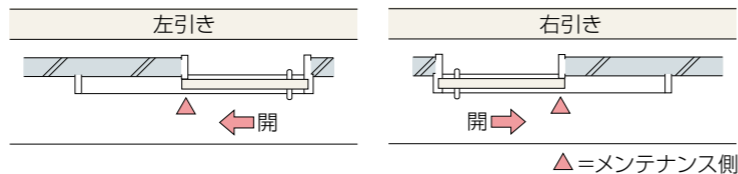
[試験機関] ●遮音性試験：(一財)建材試験センター

●気密性試験：三和シャッター工業(株) 性能試験センター

●耐風圧性試験：三和シャッター工業(株) 性能試験センター

## 引き勝手

引き勝手	片引きのみ
戸袋形態	戸袋ボード納まりのみ
開閉操作	手動式(自動閉鎖)



## 使用条件

使用場所	集合住宅の玄関(ただし水がかからない場所=設置場所にひさしなどが必要です)
周囲温度	-10℃~+40℃(凍結状態は除きます)
周囲湿度	RH85%以下
環境条件	塩害、塵埃、腐食ガスのない環境

### 注意事項

- 官公庁仕様には適合しておりません。
- 窓、ガラリ、およびポストは付けられません。

## 構成部材

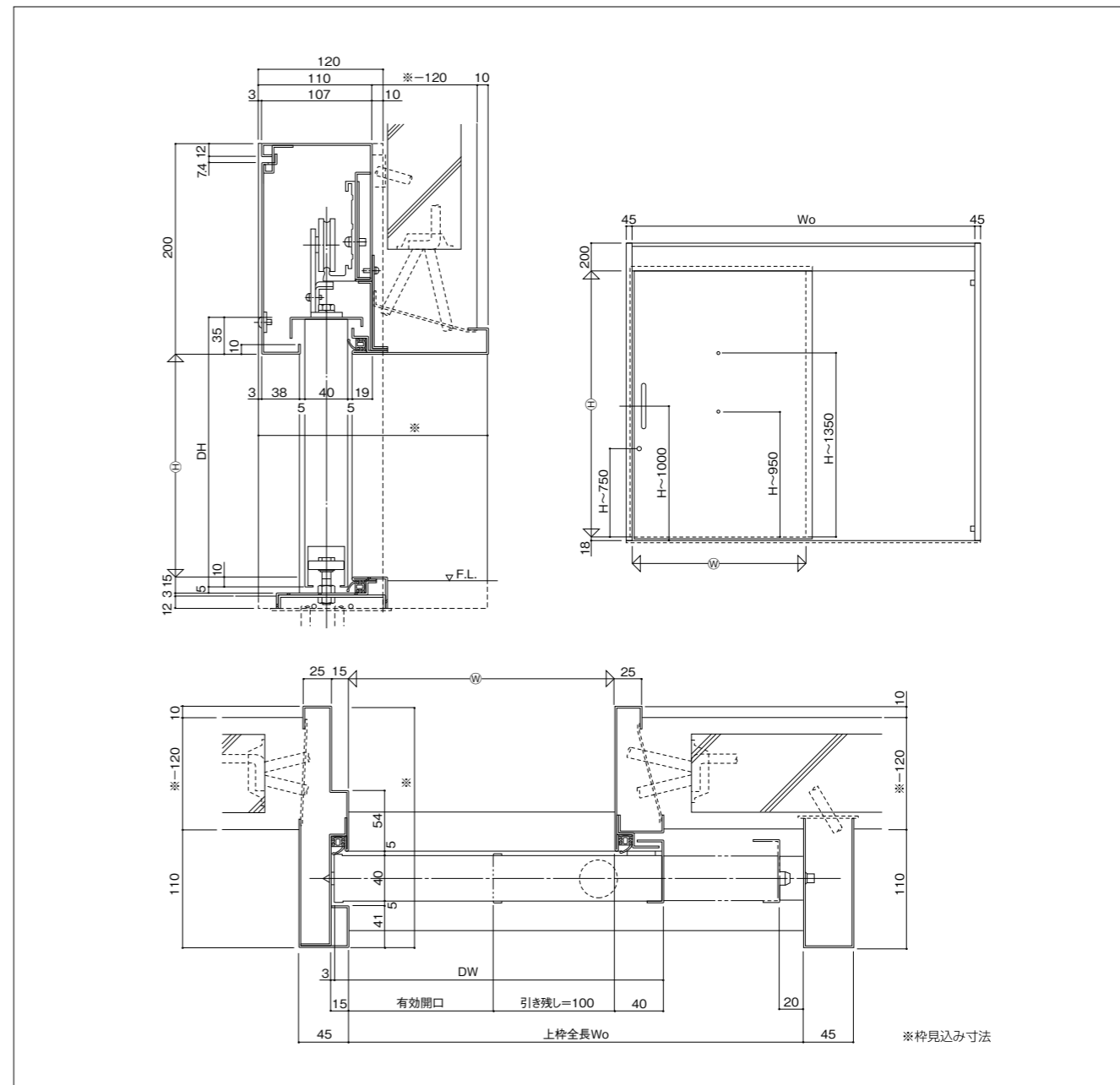
扉	扉厚	40mm
	表面材	化粧鋼板0.6mm/溶融亜鉛めっき鋼板0.6mm 仕上塗装(常温乾燥)・防錆塗装
	しん材	水酸化アルミコア
	戸先エッジ	SUS304 ヘアライン0.8mm
枠	主要枠部材	溶融亜鉛めっき鋼板1.6mm 防錆塗装
	くつすり	SUS304 ヘアライン1.5mm

## 規格サイズ

W	950mm
有効開口幅	850mm
DW	1002mm
有効開口高さH	1900~2000mm
DH	1945~2045mm

## 参考納まり図

単位:mm



### ご使用上の注意

- ドアの前や周囲には物を置かないでください。開閉や通行の支障になります。
- ドアと枠の間に手や足を入れないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- ドアをいきおいよく開放しないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。また、故障の原因となるおそれがあります。
- ドアの閉鎖は自動となっていますので、強制的に閉めないでください。故障の原因となるおそれがあります。
- 本商品は防火設備ですので、防火管理上いつも閉鎖状態にしておく必要があります。ストッパーなどをかませて開いたままにしないでください。
- ドアに直接雨水のかかる場所でのご使用は避けてください。屋外に面する場所に設置する場合には、ひさしなど雨水が直接かからない対策をお願いします。

### お手入れ方法について

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1~2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。また、台風などの風の強い日には、海岸線より数十キロ内陸まで塩分が飛来することがあります。塩分による腐食の原因となりますので、風がおさまった後できるだけ早い時期に清掃してください。

- 清掃は、水または中性洗剤を薄めた液で柔らかい布またはスポンジを使って洗ってください。  
なお、中性洗剤を使用した場合、その後洗剤の成分が残らないように十分拭き取ってください。
- 強く乾拭きをしないでください。商品によっては、布への色付着がおきることがありますが、使用上の支障はありません。
- サンドペーパーやワイヤーブラシなどを使わないでください。商品に傷がつき、しみや腐食の原因となります。

強風時、換気扇使用時における玄関ドアの音鳴り現象について

**玄関** ドアや窓を閉めきった状態で、換気扇を使用すると、強制的に室内の空気が室外に排出されると共に、同じ量の空気が玄関ドアや郵便投入口等のすき間などから室内に入り込もうとします。その時、枠や扉との接触部分を通り抜ける空気により、笛を吹くような音を出す場合があります。これを笛鳴り現象（風切り音）といいます。また、強風時や高層マンションのように常時風が吹き抜ける場所等においても、換気扇を使用したときと同様に笛鳴り現象を起こすことがあります。このような現象は、気密性の高い住宅・構造と、自然現象のひとつでもあるため、完全になくすことはできませんが、居室の換気レジスターや窓、窓の換気小窓（窓に換気小窓がついている場合）を開け、空気の吸入口を確保していただくことで、音が静かになります。

換気扇等の換気設備によりドアが開きづらくなる現象について

**24時間** 換気・換気扇・浴室換気などの換気設備を使用した場合、ドアが重くて開けにくいという現象が生じる場合があります。これは、住戸内の空気が排出されることで住戸内が負圧となり、住戸内外の圧力差によって扉が枠に押しつけられるためです。このような場合は、居室の換気レジスターや窓、窓の換気小窓（窓に換気小窓がついている場合）を開け、排気に見合う吸気を確保していただくことで、住戸内外の圧力差が緩和され、ドアが開けやすくなります。

玄関ドア等からの雨水の浸入について

**台風** や強風雨時など、ドアの下部や枠と扉のすき間から雨水が浸入することがありますが、製品の不良ではありません。玄関は、屋根・庇等により通常の風雨を防げること、玄関の土間は居室と違い濡れることを想定スタイルなどで仕上げられています。よって玄関ドア等にはサッシと同等の水密性能は要求されていません。また、施錠機構は、サッシに採用されているような枠と扉を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ機構にはなっていません。台風時等、下枠部分にタオルなどをあて、雨水の吹き込みを防いでください。

玄関ドアの熱反りについて

**一般的** に玄関ドアは、断熱性を高めるよう室内外で熱を伝えにくい構造にしています。したがって、ドア表面に太陽の光が当たったり、室内外の温度差があったりした場合、ドア内外面に温度差が発生し、ドアに反りが発生する場合があります。この反りにより、扉と枠のすき間から光の漏れや、錠の施解錠がしにくくなる現象が発生しますが、内外の温度差が小さくなるとともに解消します。この反りにより、錠の施解錠がしにくい時は、取っ手をしっかり持ち、扉を閉め込んでから、操作してください。

ステンレスの錆について

**ステンレス** が腐食に対して強いのは、表面に保護被膜が形成されるからです。この被膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので、錆が発生することがあります。したがって、ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、「錆びにくい」金属と言えます。ステンレスに錆が発生するのは、例えば次のような場合です。  
 ●ハウスクリーニングの際、塩素系の洗剤がステンレス部品に付着した場合  
 ●海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着した場合  
 ●大気中に浮遊する鉄分や有害ガス中の成分が付着した場合  
 その他、ステンレスの錆として「もらい錆」と言われるものがあります。例えば、鉄くぎの錆が表面に付着したり、土ぼこりの中に含まれる微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることで、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。ステンレスについての錆は、台所用クレンザーや市販のステンレス用清掃剤などで、こすり落としてください。この場合、表面にこすり傷がつくことは避けられません。また「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行してステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。いったん発生した錆は落とすことが難しいので、日頃からこまめにお手入れをしてください。

虫の侵入について

**ドア** は、軽快な開閉ができるように、扉と枠の間にある程度のすき間を設ける構造となっており、完全に密着できるものとなっていません。これらのすき間は、円滑な開閉を考えて薄くて弾力性のあるタイト材やパッキング材で、できるだけ小さくようになっています。昆虫は一般的に、光に向かって飛来する他、扉と枠のすき間に入り込もうとする習性があります。これは、特に、10月、11月など寒さが感じられる時節や、3月、4月の春先の時節、朝晩の寒暖の差が大きい時節などに、外部の寒さから逃れるため、越冬のために、暖気が感じられる家屋に集まろうとする傾向があります。中でも、カメムシやてんとう虫等の這い回る甲虫（こうちゅう）は、少しでも暖かい方に向かって、わずかなすき間でも押し入ろうとする習性が強く、場合によっては、柔らかい材質のタイト材を押しつけて室内に侵入することもあります。したがって、このような習性を持つ昆虫の侵入を完全に食い止めることはできません。万一、虫が室内に侵入した場合の対応策は、次のとおりです。  
 ●殺虫剤、駆虫剤による駆除をお願いします。カメムシ専用の薬剤もあります。  
 ●特に、カメムシはうっかり触ると悪臭を出し、手の指に染みつくことがありますので、ガムテープの使用をおすすめします。

ドアの結露について

**扉** や枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止と腐食防止のために、こまめに拭き取ってください。結露は、室内外の温度差が大きく、室内の湿度が高い場合に、自然現象として、季節を問わず発生します。したがって結露はドアの不具合ではありません。室内の環境条件によっては、断熱性の高いドアを使用しても、結露が発生します。マンション等の玄関ドアは、熱を伝えやすい鋼製の防火ドアですので、枠や扉の回り、郵便受け周辺部は、特に結露が発生しやすくなります。むしろ、扉や枠に結露が生じることは、押し入れの中やタンスの裏側のような目に見えない部分に発生する結露よりも対処しやすいと言えます。一般的には、秋・冬の季節は、暖房により結露が発生しやすく、インフルエンザ対策や乾燥防止のために、加湿器等をご使用の場合は、特に結露が発生しやすい状況になります。また、新築の家では、使用した木材などの建材に水分が多く含まれているため、冬の暖房時や乾燥しやすい時期に、その水分が放出しやすい室内環境になると、結露が発生しやすくなります。また、睡眠中に人の呼吸などにより、発散する水分が結露の原因になると言われています。結露を完全になくすことはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことがあります。  
 ●居室の換気をこまめに行い、水分を含んだ室内の空気を排出する  
 ●室内で洗濯物を干さない  
 ●ストーブの上でやかんの湯を沸かしたり、加湿器を使ったりしない

出典：日本鋼製軽量ドア協議会ホームページ「ドアのまめ知識」